



第56回氷見市民体育大会 総合開会式
『市民体育大会』
 アトラクション「オリエンタルベリーダンス」



『秋田国体』
 県新記録樹立(平泳ぎ)西川克弥選手・氷見SC



ふれスポギネスにチャレンジ
 ～大なわとび競技～



『2007スポーツ健康まつり』 市弓道連盟による特別演武

「スポーツの魅力」



財団法人氷見市体育協会
 会長 堂 故 茂

先ごろ、ふれあいスポーツセンターでVリーグの試合があり、氷見をサブホームタウンとする豊田合成トルフェルサは、フルセットとなる熱戦を展開されました。日本トップレベルの選手たちが勝利にける闘志や、高い身体能力と技術は、大勢の観客を魅了しました。

また、再戦となったハンドボール北京五輪アジア予選では、本市出身の早船愛子選手が出場したこともあって、ふれあいスポーツセンターでのパブリックビューイングでは、たくさんの方々が試合会場の選手たちに聞こえんばかりの熱のこもった大声援を送ってありました。

スポーツは、プレーする人だけでなく観る人の心をも熱くさせ、会場全体が一つ一つのプレーに一喜一憂しながら、気持ちをひとつにする不思議な魅力があると改めて感じました。

氷見市体育協会では、このように素晴らしい魅力をもつスポーツに、誰もが身近に楽しく触れ合っていたくことを目指しております。このため、総合型スポーツクラブとして設立した「ふれんず」では、ふれあいスポーツセンターを拠点とし、定期的・継続的に親しめる多様な教室を開催しており、また、市民プール・トレーニングセンターでも、さまざまなスポーツ教室の開催に努めております。オリンピックキヤーの今年、この機会に自分にあつたスポーツをみつけ、心地よい汗を流されることをお勧めいたします。

体育協会では、市民の皆さんの声に耳を傾け、スポーツの普及に努めて参りますので、ご意見などをお寄せくださいますようお願いいたします。

終わりにになりましたが、本誌発行にご協力いただきました各位に対して心から感謝申し上げますとともに、今後とも体育協会にご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます、あいさついたします。

2007スポーツ健康まつり

10月27日(土) ふれあいスポーツセンターにて延べ1000名が参加して「2007スポーツ健康まつり」を開催しました。

「ムジカグランド氷見」による華やかなマーチング演奏、富山グラウジーズダンスチームによるパワフルなチアリーダーイングで幕を開けました。一転して館内が静寂の中、氷見市弓道連盟による特別演武(一つの射礼)が披露されました。高畠成中先生の解説のもと普段は身近に接することが余りない弓道を見ることができました。射技と礼法が一体となった立ち振る舞いの美しさと緊張感、参加者の皆さんに新鮮な気持ちと大きな感動を与えてくれました。

メインアリーナでは「ふれスポギネス」にチャレンジャーコーナー」を新たに設け、各競技の記録を毎年継続して記録していくこ



とにしました。これからどれだけの新記録が出てくるのかとても楽しみです。今後はさらに参加者の意欲が高まり、「ふれスポ記録」、さらには「世界記録」への挑戦が続くことを期待します。またサブアリーナでは氷見市のアスリートに挑戦するコーナーが設けられました。健康コーナーでは、(昨年同様)参加者に人気の高い「骨密度検査」に加え、「脳年齢測定」等を実施しました。今回の「2007スポーツ健康まつり」を通して、参加者は自己の健康管理の必要性を改めて認識していました。

第56回 氷見市民体育大会

第56回氷見市民体育大会の開会式が6月23日(土)ふれあいスポーツセンターで30競技の役員・選手約300人が参加し盛大に開催されました。アトラクションとして神秘感溢れる「オリエンタルペリリダンス」も披露され、氷見市最大のスポーツの祭典に華をそえました。

今年の市民体育大会は5000人の選手・役員に参加を得て、各競技で熱戦が繰り広げられました。

トレーニング講習会

「競技力向上のためのトレーニング講習会」

平成20年2月11日(月)、スポーツ医・科学委員会では、県陸上競技連盟強化部の越後俊朗先生と峠篤史先生をお招きして、「競技力向上のためのトレーニング講習会」を開催しました。先生方からは、ミニハードルやセラバンドを使った効果的なトレーニング方法を教わりました。

受講した小中学生約100名は、元氣よくアリーナ内を動き、さわやかな汗を流すことができました。

半世紀の歴史

氷見市駅伝競走大会

11月3日(日)、さわやかな晴天に恵まれて、第25回氷見市駅伝競走大会が開催されました。中学男子77名、中学女子70名、一般男女5チーム35名、県選抜2チームの計29チームが参加し、氷見運動公園周回コースで激走が展開されました。今大会ではサイクルスポーツ協会の協力を得てロードレーサーによる伴走を行いました。先頭には中野武道副会長が、最後尾には山崎元昭理事長が伴走し、大会の半世紀を迎えるにあたり、他競技団体と連携した新しいスタイルの大会運営となりました。



第25回 富山県駅伝競走大会

富山県駅伝競走大会が11月11日(日)に富山県庁前をスタート・ゴールとして(距離42・5km、18区間)で開催されました。個人では、第3区の前田浩児君(北部中学校)が区間一位、と健闘の走りを見せました。チームとしては2時間25分08秒で9位という結果に終わり、昨年より順位を2つ上げました。次回大会に向けて強化練習を重ねて、6位入賞に期待したいと思います。

第25回富山県駅伝競走大会結果

順位	市町村名
1位	富山市
2位	高岡市
3位	南砺市
4位	射水市
5位	魚津市
6位	砺波市
7位	中新川郡
8位	下新川郡
9位	氷見市
10位	小矢部市
11位	黒部市
12位	滑川市

第60回 富山県民体育大会

七月二十八日(土)から三十日(月)までを中心会期とし第六十回富山県民体育大会が県内一円で、約3万人が参加して、猛暑の中各競技に熱戦が繰り広げられました。氷見市からは、堂故 茂団長以下980名の選手団を派遣しました。総合成績では、昨年の一般、中学の部とも8位と成績が少し残念な結果でしたので反省も踏まえ体育協会強化普及委員会と各競技団体との連携で強化事業の見直しをした結果一般の部、中学の部とも第四位と大躍進しました。競技別では、ハンドボールの一般男子、中学男女の優勝や、バレーボールの一般女子の優勝、弓道競技の男女アベック優勝などのチームでの活躍や、相撲、水泳などの個人種目でも素晴らしい活躍をみせてくれました。

第60回富山県民体育大会結果

『一般の部』		『中学の部』	
順位	市町村名	順位	市町村名
1位	富山市	1位	富山市
2位	高岡市	2位	高岡市
3位	黒部市	3位	南砺市
4位	氷見市	4位	氷見市
5位	南砺市	5位	黒部市
6位	砺波市	6位	射水市
7位	下新川郡	7位	砺波市
8位	魚津市	8位	下新川郡
9位	小矢部市		魚津市
10位	射水市	9位	滑川市
11位	滑川市		小矢部市
12位	中新川郡	12位	中新川郡

全国小学生ハンドボール女子2連覇

「大好きなハンドボール」

窪スポーツ少年団ハンドボール部

監督 新井 龍雄



決勝では木田（福井）と対戦することとなった。前半は同点、後半も8対8の同点で、残り4分を残し2分間退場者が3人。このピンチを、檜木のドリブルからの9点目、キーパーの好セーブ、上野のダメ押しの10点目と逆に引き離す。厳しい試合の終わりを上げるブザーに全員とびあがって喜び合った。最終日に向かって気分が盛り上がりうれしさもひとしお。

準決勝勝桃園小（京都）は、5月に練習マッチを行なっており、前半大差、途中リズムが悪く、少し心配させられたが、17対14で勝利。

決勝は、北海道HC（茨城）

との決戦となった。子供たちは落ち着いており、ミーティングで、170cmの大型ポストにデフエンスを集中させることを指示。相手ペースにならないよう心がけ、強いセンターとサイドシュートをねらい、5年生コンビ、檜木、北山が得点。デフエンスからインターセプトの速攻など前半7対3、後半8対5と、この大会一番内容が良い試合をしてくれた。

6年生は後悔しないように、5年生は自分のすべてを出してみよという問いかけに、選手は試合を通して最高の答えをだしてくれました。全国大会の舞台で大好きなハンドボールを出来る喜びや力を合わせることにすばらしさをつかんでくれたような気がします。

仏生寺の林外美さん、西裕之先生、上庄の竹内貞明さん、その他富山県ジュニアの指導者の方々の応援、氷見市や協会関係者の御支援に、御礼申し上げます。本当にありがとうございます。氷見のハンドボールが2年連続全国大会優勝という結果を出し、改めて私たちジュニアの活動が報われたような気がします。

これからも一人ひとりに合ったアドバイスを考え、実行し、子供たちと共に歩んでいきたいと思っています。

第3回 春中ハンド

春の全国中学生ハンドボール選手権大会（以下「春中ハンド」）が、3月25日～29日にふれあいスポーツセンター、氷見高校、有磯高校会場で開催されました。今年も、全国から集まった選手たちのハツラツとしたプレーや、多くの市民の皆さんの温かいおもてなしが印象に残る素晴らしい大会となりました。

日本のハンドボール界の中で、氷見市が「ハンドボールの聖地」と呼ばれることを目指しており、全国のハンドボールの憧れの地となるよう努力を続けています。春中ハンドは氷見市、氷見市民また地域応援サポーターの皆様のご協力のもと、ハンドボール界全体の底上げに大きな役割を果たす大会に成長したいと思っております。

この広報誌が皆さんの手元にお届けされたときは、すでに第3回大会は終わっています。勝利したチーム、惜しくも負けたチーム関係なく、来氷した中学生たちは素晴らしい思い出を残したと思います。

第10回大会まで、あと7回氷見市で開催することとなっておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

平成19年度 財団法人氷見市体育協会表彰受賞者

特別功勞

山口 吉弘 氷見市体育協会 理事・事務局長

早船 愛子 第15回アジア競技大会ハンドボール競技

特別表彰

池田 信彦 ビーチボール協会 副会長

高西 正昭 ビーチボール協会 副会長

「国体及び全日本選手権大会」

稲積 京之介 第1回ソフトテニスジュニアジャパンカップ

HUMAN 第13回ジャパンカップビーチボール選手権大会 21歳以下の部 優勝

窪スポーツ少年団ハンドボール部 第20回全国小学生ハンドボール大会 男子30歳以上の部 3位

谷内 明日美 第4回全日本中学生女子相撲大会 60kg以上級 優勝

表彰状

HUMAN 第24回全国ビーチボール大会 男子31歳以上の部 優勝

チームラボ 第24回全国ビーチボール大会 女子31歳以上の部 優勝

シルバースターズ 第15回全国マスターズ大会 ハンドボール競技 男子の部 準優勝

富山エンジェルス 第15回全国マスターズ大会 ハンドボール競技 女子の部 準優勝

十二町おにばす 第14回翡翠カップビーチボール全国大会 準優勝

「県民体育大会」2部 優勝

氷見選抜 ハンドボール中学男子

氷見選抜 ハンドボール中学女子

氷見市 卓球中学男子

氷見市 卓球中学女子

氷見市 ソフトテニス中学女子

氷見市 弓道一般男子

氷見市 弓道一般女子

上田球友 ゲートボール一般女子

氷見市 ハンドボール一般男子

氷見市 バレーボール一般女子

みおも ビーチボール一般男子Aクラス

PINKRABBIT ビーチボール一般女子Aクラス

表 信貴 相撲 中学個人重量級

氷見市 水泳 一般男子400mリレー

「県民体育大会」3部 優勝

上庄ハンドボールクラブ 児童男子

仏生寺スポーツ少年団 児童女子

久目小チーム ゲートボール 学童

大野 弘貴・二谷 侑宏 ソフトテニス 小学生6年男子

森本 輝・神野 泰光 ソフトテニス 小学生5年男子

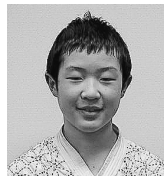
小阪 聖 卓球 学童男子カブ

いきいき きときと ジュニア紹介

少年剣道教室

「皆、仲間」

石村 大史



ぼくは、二年生から剣道をやっていました。初めは、遊び、楽しかったです。

でも、だんだんと練習が厳しくなり辞めてしまう人もいました。でも今年のけい古始めに先生が、「剣道を続けていたらいつか一人になるかもしれない。でも剣道は一人になってもできる。」剣道をやっている者は、皆仲間だから」と教えてくれた確かに、ちがう学校の人も仲間良くなれたのは剣道をやってたからだ。だからぼくは、先生の言葉の意味が分かる気がする。中学校へ行っても剣道を続け、剣道を通じて、多くの人とふれ合えたらいいと思っています。だからこれからも剣道をがんばりたいです。

遊学クラブ

「遊びに挑戦」

川合 野乃



わたしは、第一・三土曜日に遊学クラブに通っています。人数は五人ぐらい

でいろいろな遊びをしています。私知っている遊びもありました。知らない遊びもありました。やったことのないものもありました。

知らなくてやったことのない「パークゴルフ」は、初めはびっくりでしたが、やっているうちに楽しさが分かってきました。「鬼ごっこ」も、人数は少ないけれど楽しかったです。これからもいろいろな遊びをやって楽しみたいです。

柔道教室

「気合を入れて」

間島 辰徳



ぼくが、柔道を初めたのは、一年生の十一月頃からです。最初は、礼儀や基本の動きを教えてもらいました。

次は、技を教えてもらいました。練習をがんばり、四年生からは団体戦の先鋒で試合にもできました。それから次鋒、副将、そして今はキャプテンという大役をまかせられるようになりました。柔道教室に通って、柔道とは試合の勝ち負けではなく、技をみがくことによつて、心身をきたえ、勇気と思いやりをもつことの大切さを学びました。そして、道場の仲間と協力しながらきびしくけい古にはげむことで、さらに多くの仲間をつくることのできることもわかりました。先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

中学校に行っても、柔道を続けて、がんばりたいと思います。

ソフトテニス教室

「今、大切なジュニア教室」

前澤 幸則



ジュニアソフトテニス教室では小学生を対象に初心者から上級者の楽しめ方を

教えています。小学生の基本は二人で組むダブルスです。お互いの気持ちの大切さを基にワンブレイでは無く、二人で一本とれるコンビブレイが光ります。ポイントして二人でかわすハイタッチの顔に素晴らしいものがあります。

教室では二人の気持ちだけではなくチーム全員の気持ちが出せられるように、ふれあいスポーツセンターでは、お互いにフット・フットと大きな声を掛け合い元気な声はその日の調子を上げていきます。

「自分の力以上のフットがいつの間にか出るようになった。」いづつかそんな自分を発見してください。そして県内の多くの小・中学生の仲間と友人になり、大海を知らないスポーツマンではなく、開かれた大きな大会で多くの仲間がいることを知ってください。

教室での基本ブレイの練習成

果を大会で実行して感動と反省を味わい大々的な子供たちです。現在男女三十数名が集まり週二回の教室を開いております。氷見ジュニアの卒業生には全日本アンダー選手や国体選手も出来、子供たちの夢もチラ、チラと見え始めました。

頑張る子供、明るい子供たちを募集しています。一人でも多くの仲間といろんな人達にも教えてもらえる、そんな心豊かな教室を目指しております。

ジュニアフレッシュネス教室

沢田 明



私たちの教室は小学一年から六年までの30名で毎週水曜日に活動しています。

スポーツマナーや礼儀また基本を最低限教えています。この教室はまだ運営するのは実質2年目で指導者を含め、まだまだ試行錯誤の日々です。私はこの教室を子供たちがいろんな意味での次のステップとしての場所であり、教室だと考えています。

これからは各小学校の少年団や「ふれんず」の各教室ともつと連携し、より子供たちの可能性がひろがればと思うとともに生涯スポーツとして親子でも楽しめてもらえればと思っています。

平成20年度 『主なスポーツ行事予定』

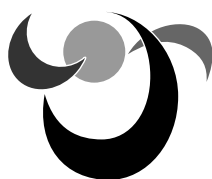
第57回氷見市民体育大会
(6月28日・29日中心会期)
…ふれスポほか

第61回富山県民体育大会
(7月26日・28日中心会期)
…県内各地

第63回国民体育大会
(9月26日・10月6日) …大分県
2008スポーツ健康まつり
(10月25日) …ふれスポ

第26回富山県駅伝競走大会
(11月9日) …富山 高岡

第64回冬季国民体育大会
(1月下旬) …
春の全国中学生
ハンドボール選手権大会
(3月25日・29日) …ふれスポほか



氷見市体育協会

検索

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/fureaisc/taikyou/taikyohome.html>